

雪山教室 北八ヶ岳 天狗岳 2008年2/29(金)夜～3/2(日) 中林記

A班 L.中林(総L.)・高畑・寺田・利根川(わたすげ)

B班 L.但野・佐々木(正夫)・亀井・西川(紀)

C班 L.本木・土田・国領・山田

D班 L.今西・稲葉・吉田(砂)・西川(清)

会員15名・一般参加1名

2/29(金) 車で21時JR蒲田駅発 道の駅 小淵沢で前泊した。

3/1(土) 曇り～にわか雪

渋・辰野館に移動し、入山準備を行った。今回の雪山教室では、参加者16名中、14名がビーコンを携帯(不参加者より借用・会装備含む)した。雪崩の危険はあまり考えられなかったが、雪山教室ということもあり、操作を憶えてもらうためにも携帯をお願いした。

辰野館より八方台に至る登山道は、踏跡は全くなく、かろうじてそこが登山道であると判別できる程度の凹みしかなかった。ワカンは付けず、つぼ足で出発、八方台まではゆるやかな登りであった。

八方台からしばらく歩くと、冬期閉鎖中の唐沢鉱泉へ向かう林道に出た。当然除雪はされておらず、ゆるやかな雪の登り道が続いていた。天気は曇り～にわか雪であり、周辺の山々は殆ど見えなかった。八方台から1時間半程で唐沢鉱泉に到着、ここからワカンを付け、西尾根に取り付くことになった。

西尾根の雪は、膝下位までであったらうか(最後を歩いていたので正確には不明)。「100歩進んだら、どんどん代わって下さい～」と、後ろから呼びかけるが、一向にペースが上がらない。ラッセルをするのが初めてで、ラッセルするのが楽しい?会員もいたようで、皆、先頭を歩きたかったようだ。結局、後ろの人達はラッセルすることなく、稜線(唐沢鉱泉から高度差280m)に2時間程で到着した。

到着した稜線(2,150m付近)には、西尾根稜線への合流を示す道標が立っており、確かにここが天狗岳の西尾根稜線であることと、我々が歩いてきたのは唐沢鉱泉から西尾根稜線に至る夏道であったことが確認できた。

道標より少し上がったところでテント設営となった。樹林帯であり、テントを張るスペースは殆どない。我々以外に登山者が来ないという判断のもと、登山道上にテントを張ることになった。テントは4～5人用エスパース3張りとは6～7人用エスパース1張りである。私のテントは6～7人用エスパースであったため、場所の確保に苦労した。会備品の古い4～5人用テントは6～7人用エスパースと同じ重さと聞いていたので6～7人用の方を持ってきたが、テントを張るスペースを考えれば、古い4～5人用テントの方を持って来るべきだった。

テントの設営が終わったのが14時過ぎ、少し遅くなってしまったので、野外でのビーコン訓練は中止し、各テントごとにビーコンの操作方法に関して簡単な説明を行うこととなった。

夕食後、翌日の行動時間に関して数名の会員と相談を行った。雪の状態とテント場からの標高差約500mを考えると、明日のピークハントで天狗岳の頂上に立てない可能性があり、撤退する時刻を決めておく必要があった。下山してから温泉に寄ることと、帰りの中央道の混雑を考えると、辰野館への到着目標は14時となった。逆算していくと、テント場発11時、撤収1時間とすれば天狗岳からテント場着が10時、明朝は4時起きで出発が5時半と決めていたので、ピークハ

ントに使える時間はテント場から往復 4 時間半(昭文社の地図では夏道往復 3 時間)となった。

3/2(日) 晴れ

4 時起床、出発に先立ち、各班にピークハントを終了して引き返してくる時間を通知。8 時半が引き返す時間となった。準備の早い 2 班(B 班・C 班)は 5 時半に出発、私を含む準備の遅い 2 班(A 班・D 班)は 6 時出発となった。

西尾根稜線の樹林帯の雪はふかふかで、ワカンが必要であった。1 時間半程で 2,416m の第一展望台に到着、樹林帯が切れ、すばらしい眺望が開けた。八ヶ岳から南アルプス、中央アルプス、御嶽山、北アルプスは鹿島槍まで見渡すことができた。

8 時、後発の 2 班(A 班・D 班)は 2,510m の小ピーク(第二展望台)に到着、先行する 2 班(B 班・C 班)は第二展望台と西天狗の鞍部付近に到達していた。先行する 2 班より無線連絡が入り、ピークハントの相談を受ける。天気良く、風は微風、鞍部付近から 45 分程で山頂に立てると判断し、15 分おまけして G0 サインを出した。また、私と一緒に行動してきた今西さんと西川(清)さんにも、先行組が下山してきたときには一緒に下山することを条件に、ピークハントを許可した。残りの 6 名は引き返すこととし、しばらくピークハント組の行方を第二展望台より見守った。程なく、西天狗の雪壁に人陰が現れた。皆、競うように登って行く。アイゼンを付けているかどうか無線で呼びかけるが、応答が無い。西天狗の雪壁に 10 名の人陰を確認した後、残った 6 名は周囲の風景を楽しみながら、のんびり下山に向かった。

テント場に戻ってきたのは 10 時頃だったであろうか。小休憩後、テント場の撤収をしていると、ピークハント組がぼちぼち帰ってきた。大急ぎでテントを畳み、11 時過ぎには全員が西尾根稜線から唐沢鉱泉に向けて下山を開始した。

昨日の登りの時と違い、稜線から唐沢鉱泉まで 30 分程で到着、下りはかなり早いペースであった。辰野館には 13 時頃着、昨日登りに 5 時間かかった西尾根稜線から、2 時間程で下山してきたことになる。

車に荷物を積み込み河原温泉河原の湯に立ち寄る。アルコールの自販機がない健全な？温泉施設であった。温泉で清算を済ませ、解散となった。酷い渋滞に巻き込まれることもなく、18 時頃蒲田に到着した。

但野さんの GPS による軌跡

3/1(土) 辰野館 7:30~八方台分岐 8:35~10:10 唐沢鉱泉 10:30~  
西尾根稜線 2,150m 付近(テント場) 12:40

3/2(日) テント場 5:30~第一展望台 6:55~第二展望台 7:50~  
天狗岳 8:45~第二展望台 9:30~第一展望台 10:00~  
10:20 テント場 11:00~11:30 唐沢鉱泉 11:50~  
八方台分岐 12:30~辰野館 13:10